

新野菜

アレツタ



朝日アグリア株式会社

新野菜 アレッタ 2

(ブロッコリー×ケール)

農水省品種登録 第20556号 登録品種名 アレッタ



【販売規格】

Lコート1,000粒

小袋1mL
(約150粒)

アレッタ2お奨めポイント

- ① ブロッコリーの生産資材（*注）を使って播種から収穫まで可能！
- ② **長期間収穫可能で収量によりブロッコリーの数倍稼げる！**
（後の収量調査資料参照）
- ③ **栽培が容易！**
（ブロッコリーと同じ施肥設計で収穫開始後追肥主体の管理）
- ④ **収穫作業を急がず済む。**
（ブロッコリー収穫と併用でき、冬期間の新たな収入源！）
- ⑤ 市場流通が少ない為、価格の崩れなく安定している。
- ⑥ **栄養価が非常に高く、差別化商品として狙える。**

*注意！

**「アレッタ」での登録農薬はありません。非結球あぶらな科葉菜類、なばな類もしくは野菜類で登録のある農薬のみ使用可能ですので
注意して下さい。**

栽培スケジュール（冷涼地）

作型	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
冷涼地					●	▲						

●：播種 ▲：定植 ■：頂花蕾収穫 ■：側枝花蕾収穫

- ・頂花蕾収穫開始が早く、大株になり葉枚数とともに側枝が多くなる。
- ・6月からの気温上昇期、コナガ・アオムシに注意！

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

- ・9月中旬以降、気温が下がってくる頃からはヨトウに注意！
- ・7月下旬以降、高温で雨量が多い時は、収穫した部位から腐る恐れがある。出来るだけ晴れた日を頂花蕾収穫にあて、切り口を乾かすことが大事（消石灰の粉を切り口に塗布すると、殺菌＋乾燥の効果あり）

栽培スケジュール（関東参考基準）

作型	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
一般地	●	▲										

●：播種 ▲：定植 ：頂花蕾収穫 ：側枝花蕾収穫

- ・頂花蕾収穫開始が早く、大株になり葉枚数とともに側枝が多くなる。
- ・気温が高い時期の栽培スケジュールとなり、虫害に注意が必要。
- ・夏～秋にかけて、シンクイムシ・コナガ・アオムシ・ヨトウに注意！

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----

- ・春先の病鳥害注意！

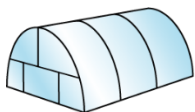
播種・育苗管理



128穴セルトレイ（1トレイに培土約4L）



セルトレイは地面に直接置かず、**20cm以上の高床で管理**し、根がトレイの外に出るのを防止し、根鉢の形成を促す



気温が高いときには遮光が必要となるため、**ハウスやトンネルの雨よけ設備内での育苗**がお奨め

定植適齢期の苗



2.5葉期苗



3葉期苗

播種後20～25日で本葉**2.5～3**葉、徒長していない

抜いても培土が崩れない

※根が黒ずんでいれば、根腐れや老化で、活着が悪くなる

播種・育苗管理

初春育苗

窒素150mg/L程度

温床やトンネル等で**地温を10℃以上確保**し、地温28℃を目標とする
乾燥に注意する

育苗培土の乾燥状況を確認しながら、
随時灌水する
温床やトンネル等で**地温を10℃以上確保**し、日中は適度に開放して、蒸れを防ぐ

育苗培土の乾燥状況を確認しながら、
随時灌水する
本葉展開後は比較的低温に耐えるが、
地温5℃を確保する
定植前1週間は灌水を減らし、ほ場環境に慣らせる

培土

発芽まで

育苗初期

育苗中後期

春～夏育苗

窒素100～150mg/L

地温が30℃を超えないように遮光等でハウス内管理し、乾燥に注意する

育苗培土の乾燥状況を確認しながら、
随時灌水する
地温が35℃を超えないように、遮光等でハウス内管理する

高温期の**晴天日は毎朝灌水を行う**
ハウス内が高温であれば、屋外で管理する
定植前1週間は灌水を減らし、ほ場環境に慣らせる

定植準備①（圃場の選定・土壌改良）

- ・好適pH6.0～6.5

pHが低く湿潤な土壌では生育不良となる。また、根こぶ病は酸性で発生助長 → 土壌診断を活用して、pHを矯正

- ・排水性のよい土作り

完熟堆肥を投与し、肥沃で保水性、排水性のよい土作り。

有機質豊富な土壌を好む

→ 有機質肥料や有機質の改良資材がお奨め

- ・堆肥や緑肥を施用

毎年1回施用を推奨（2～3t/10a）

ただし、未熟な堆肥や過剰投与は、病原菌の活性化などの問題出る

定植準備②（圃場の選定・土壌改良）

- ・**アブラナ科野菜の連作を避ける**

連作で根こぶ病などの重要病害が多発する

→ ムギなどイネ科作物や緑肥などと組み合わせて、最低でも年1回の輪作を行う

- ・**ホウ素欠乏に注意**

→ 微量元素資材や**ホウ素配合肥料**がお奨め

- ・**土壌改良は定植1ヶ月以上前に**

堆肥や土壌改良資材は定植の1ヶ月以上前に施用し、よく土と馴染ませる

定植準備③（施肥例）

＊頂花蕾収穫時まで

肥料名	基肥（袋）	追肥（袋）	備考
レオグリーン特号	10		濃縮堆肥。ペレット状のため撒きやすい
BMフミン	5～6		総合土壌改良剤 （腐植＋石灰＋ようりん＋微量元素）
エコレット	5～8	1/回	低コスト 堆肥入り肥料

基肥成分量（kg/10a）

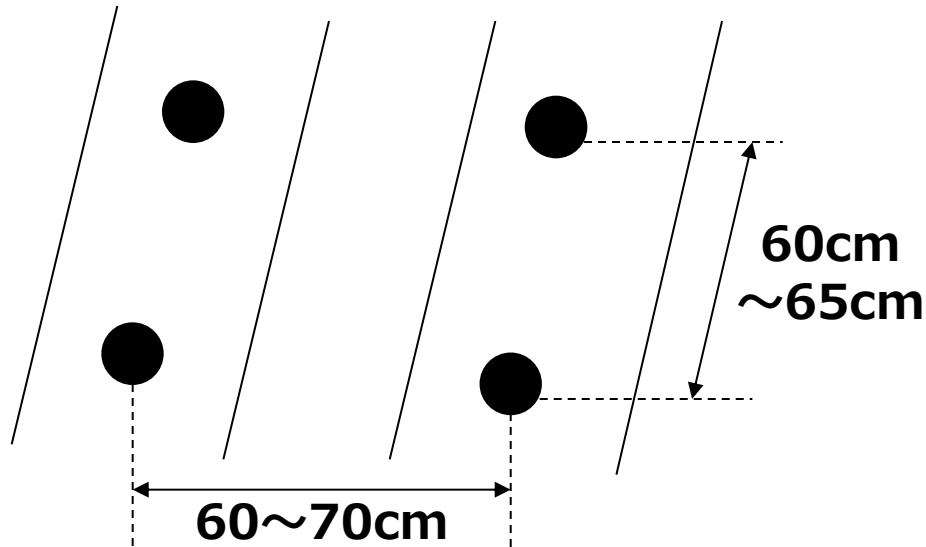
N：12～14 P：8～14 K：8～14

- ・ 収穫期まで肥料を効かせを株の生育を促進させるためブロッコリーより多肥とする。

＊（頂花蕾収穫後）

- ・ 降雨量にもよるが、20～30日おきに追肥を行い、肥切れがないよう注意する。

定植～活着



上記で栽植密度は
2,200～2,800株/10aとなります

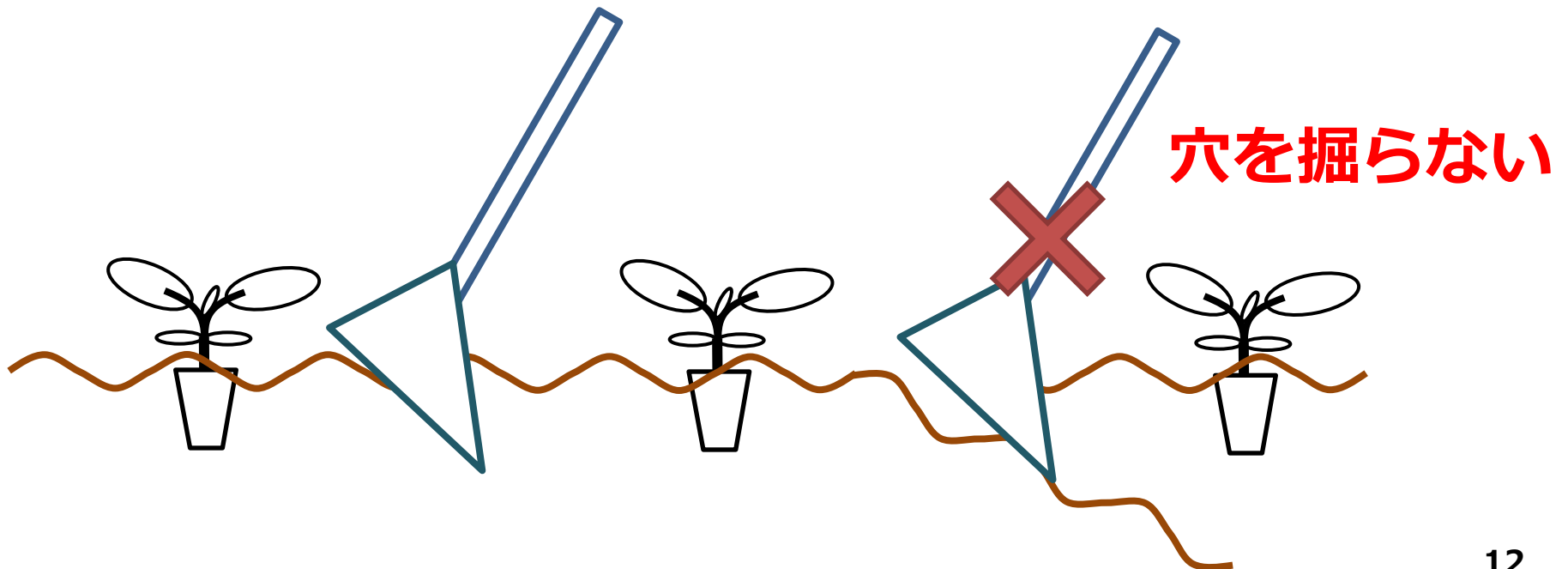
*** 条間を広く取る事で、
収穫作業性が良くなる。**

- セルトレイ育苗定植時の苗の大きさは本葉2.5枚～3枚
(定植遅れは活着不良の原因となる)
- **株間は広め**にとる。
- 乾燥時は株元に十分灌水しておき、遅延なく活着させる
- 定植する時間帯は、曇天の夕方がベスト
- **活着するまでは極端に乾燥させないよう灌水を行う**

クワ入れ



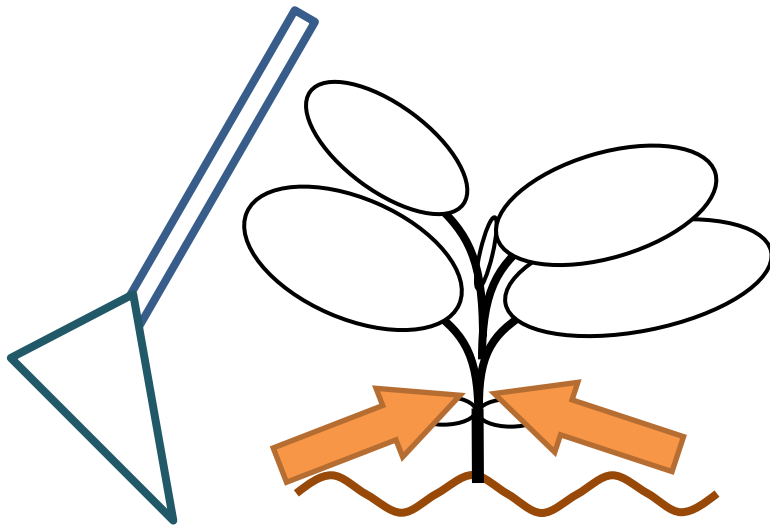
活着後、株間に三角ホーなどを2回程度差し込み、**株間に空気を送り込む**
→ 根張りを促進する



土寄せ（1回目）



定植後10日～2週間頃を目安に
(本葉4～5枚)、**土寄せ・除草**を行う
→ 排水性向上で病害・生理障害減
早期除草で雑草繁茂を防ぐ



雑草を切り落としながら

本葉の付け根（子葉の上）まで土寄せ

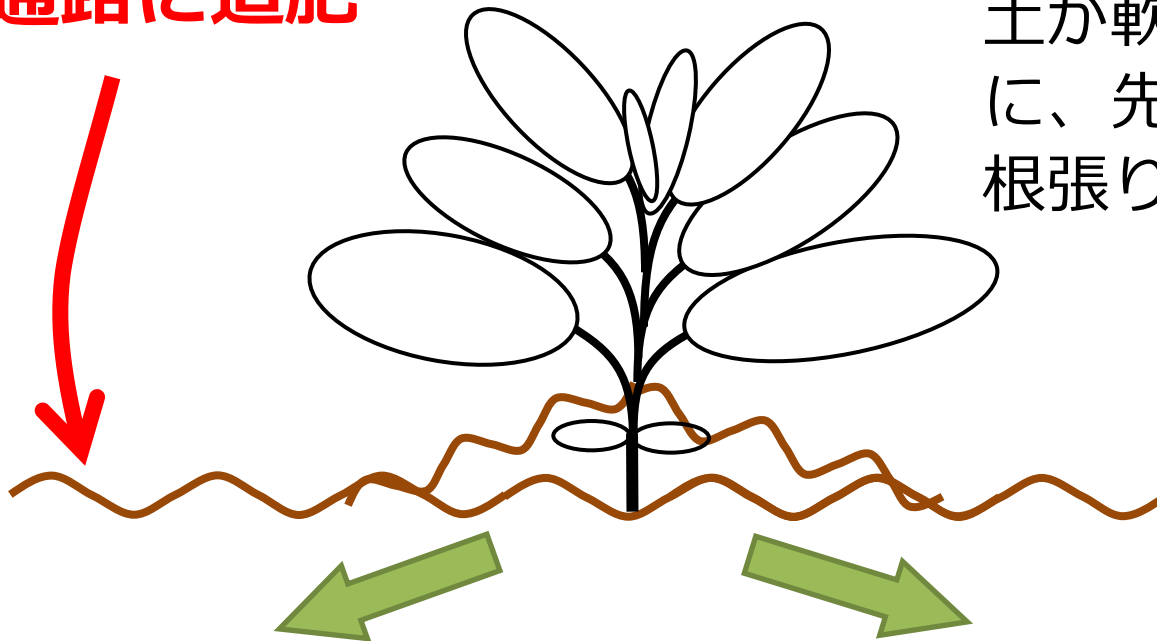
追肥・中耕・除草



定植後1ヶ月頃を目安（本葉8～10枚）
に、**通路を追肥・中耕・除草**する

→ 硬くなった土壌をほぐして、生育
を促進する

通路に追肥



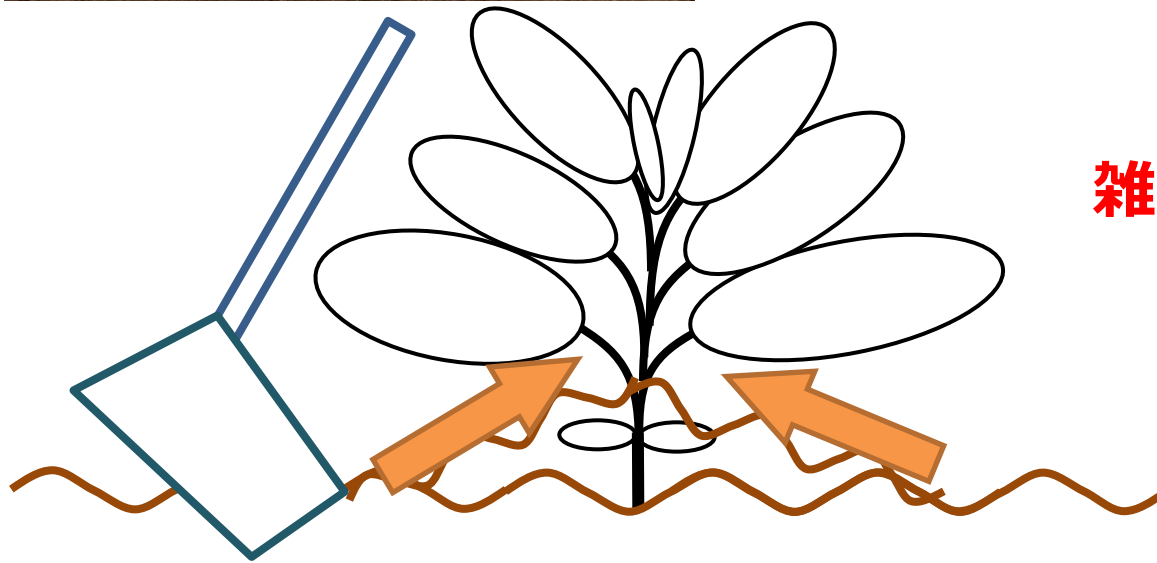
土が軟らかくなるとともに、
先端の根が切られて、
根張りが促進される

土寄せ（２回目）



**中耕後、再度株元までしっかり
土寄せ**する

→ 倒伏防止
雑草防除



雑草を埋めるように

クワないし管理機で株元までしっかり土寄せ

中耕・培土・（追肥）



2回目の土寄せ後1～2週間を目安に（本葉12枚程度）、中耕と培土器でしっかり培土する
→ 倒伏防止（台風対策）
必要に応じて追肥も行う



正回転でゆっくりと
幅と深さは土質と生育に合わせて調節



培土器

追肥・かん水

- 降雨量にもよるが、20～30日おきに追肥を行い、肥切れに注意する。
- 1回につき、エコレットを1袋/10a施用。

肥料不足の目安

生育の遅れ・葉色薄・ツヤ無し・側枝が少ない

- 冬期は雨が少なく乾燥しやすくなるため、そのような圃場では適宜畝間かん水を行う。
→かん水により、追肥の効果を向上させ、微量要素も合わせて供給できる。

病虫害防除

- アレッタは登録農薬が非常に少ないので、農薬だけに頼らない**耕種的防除**を心掛ける。
(登録農薬：非結球あぶらな科葉菜類、なばな類、野菜類)
- 台風、大雨などの降雨、強風で葉や根が傷んだ時には、病気予防を行う。
- 虫害については、発生初期に徹底して防除する。

耕種的防除

- アブラナ科連作を避ける。
- 必要な施肥を土壌診断を元に行う。
- 排水対策を徹底する（圃場選定・高畝栽培）
- 土壌酸度の調整（pH6.0～6.5に調整する）

頂花蕾の収穫方法



① 時期

- ・ **頂花蕾の直径が500円玉前後**、花蕾位置が葉よりも低い位置で収穫する。
- ・ 頂花蕾から10～15cmのところで主茎をカットして収穫する。

② 切り方

- ・ 先端にナイフまたはカッターなどで切れ込みを入れて行う。
- ※このとき、**切り口に水が溜まらないように斜めにカット**する
- ※頂花蕾下の脇芽も収量に影響するので、切りすぎないように！

生育ステージ

アレッタ 苗



定植直後



定植後2週間ごろ



定植後1か月ごろ



定植後2か月半ごろ



定植後3か月ごろ
(頂花蕾収穫時期)



定植後4か月ごろ
(側枝収穫時期)



側枝の収穫方法



※頂花蕾を収穫すると
側枝の伸びが早まる

① 時期

- ・ 側枝が出荷規格程度になったときに行い、遅れないようにする。
→収穫が遅れると、次の脇芽が伸びず収穫が遅れる。収穫後の品質低下も早くなる。
- ・ 目安として、第1側枝を収穫した後第2側枝が収穫できるのは、約20～30日後。

② 切り方

- ・ 第1側枝の下葉を1～2枚残し、出荷規格に合わせて収穫する。
- ・ 第2側枝の切り方については、第3側枝を収穫する場合、下葉を1枚残して収穫する。

③ 高温時の側枝花蕾収穫について

- ・ 収穫物の温度管理には、十分注意する。

側枝の収穫適期

収穫適期

蕾が葉よりも
低い位置にある



収穫遅れ

蕾が葉から
飛び出している
(食味低下の懸念あり)



出荷規格サイズ例 頂花蕾位置まで



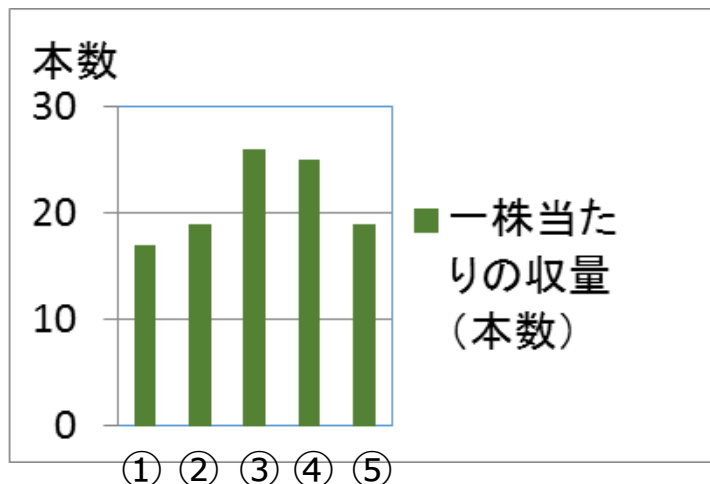
10cm

5cm

アレッタ2春作 収量調査結果

＊神川農場・春作データー

	品種名	播種	定植	収量計 調査株 3株計	1本当り収量 (本数)	10a当り収量本数 (2,000株)
①	アレッタ2 (ハウス)	1月15日	2月22日	50	17	34,000
②	アレッタ2 (ハウス)	2月2日	3月7日	37	19	37,000
③	アレッタ2 (露地)	1月15日	2月26日	77	26	52,000
④	アレッタ2 (露地)	2月2日	3月7日	50	25	50,000
⑤	アレッタ2 (露地)	2月13日	3月15日	57	19	38,000



アレッタ2秋冬作 収量調査結果

* 神川農場・秋冬作データー

	品種名	播種	定植	収量計 調査株 12株計	1本当 り収量 (本数)	10a当 たり 収量本数 (2000株)
①	アレッタ2	6月20日	7月18日	342	28.5	57000
②	アレッタ2	7月18日	8月7日	208	17.3	34600
③	アレッタ2	8月8日	8月31日	142	11.8	23600

1本当たり収量(本数)

